



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬 TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,114	8.9	765	20.5	858	10.9	636	23.7
2023年3月期第2四半期	11,122	9.7	635	1.0	774	3.7	514	14.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 804百万円 (28.7%) 2023年3月期第2四半期 624百万円 (28.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	52.03	
2023年3月期第2四半期	43.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	19,565	6,629	33.9	539.60
2023年3月期	16,576	5,620	33.9	477.61

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,629百万円 2023年3月期 5,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		8.00		8.00	16.00
2024年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期 第2四半期配当金、期末配当金の内訳: 普通配当 7円00銭、創立50周年記念配当 1円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	6.0	750	11.1	1,000	7.9	650	7.9	55.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	13,495,248 株	2023年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,209,618 株	2023年3月期	1,726,963 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	12,242,765 株	2023年3月期2Q	11,756,383 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギーや原材料価格の上昇・高止まりの影響を受け、多くの商品の値上げが実施されたものの、新型コロナウイルス感染者の減少を受けた規制緩和やコロナ禍の自粛で大幅に増加した貯蓄に支えられ、個人消費は回復基調を示しています。

この環境下において、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,114百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益765百万円（同20.5%増）、経常利益858百万円（同10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益636百万円（同23.7%増）となりました。

なお、4月に子会社化した静岡ローストシステム株式会社及びマルサン萩間茶株式会社の業績を四半期連結損益計算書に含め、飲料製造事業の報告セグメントに反映しています。

セグメントの業績は、次のとおりです。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

① 自販機運営リテイル事業

自販機運営リテイル事業におきましては、生産・物流コストの高騰に対して業務の見直しによる生産性の向上や売価の適正化により収益性の改善に取り組むとともに、M&Aの一環として東北地区で約750台の自販機営業権の譲り受け等を実施しました。

9月には自社ブランド商品として、国産果実のおいしさ届けるチューハイシリーズ「アスター」の新味として、山梨県産すもものストレート果汁を使用した「アスター 太陽すもものチューハイ」を発売しました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は7,302百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益は217百万円（同136.4%増）となりました。

② 飲料製造事業

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の値上がりに対応した価格設定を行い収益性の改善を進めるとともに、炭酸缶ラインの東西2拠点体制による営業力の強化を推進しています。

今夏より宝積飲料株式会社が「飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築（幹事会社：三菱ケミカルグループ）」に参画し、リサイクル可能なラベルを用いたペットボトル飲料の製造を行っています。この他、設備の更新による省エネ化など環境に配慮した取り組みを進め、アシードブリュー株式会社は廃水処理施設の改修を行い処理水質の安定化や管理の向上を進めていきます。

この結果、飲料製造事業の売上高は4,625百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は687百万円（同0.7%減）となりました。

③ 不動産運用事業

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は67百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は101百万円（同1.1%減）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高109百万円を含めると176百万円となります。

④ その他事業

その他事業におきましては、グループ内物流の体制整備の一環として10月よりアシードブリュー株式会社宇都宮飲料工場の倉庫管理や製品の出入庫などの業務をロジックイノベーション株式会社に移管する予定です。これによって、2024年問題など物流の課題にグループとして対応するシステムを構築していきます。

この結果、その他事業の売上高は119百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期は6百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,904百万円増加しました。これは現金及び預金の増加948百万円、受取手形及び売掛金の増加882百万円、商品及び製品の増加89百万円、原材料及び貯蔵品の増加51百万円及びその他の減少54百万円等によるものです。また、固定資産は11,964百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,084百万円増加しました。これは建物及び構築物（純額）の増加665百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加65百万円、リース資産（純額）の減少56百万円、建設仮勘定の増加90百万円及び投資有価証券の増加260百万円等によるものです。

この結果、総資産は19,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,989百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,275百万円増加しました。これは買掛金の増加682百万円、短期借入金の増加710百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加121百万円、未払法人税等の増加236百万円、未払消費税等の増加123百万円及びその他の増加425百万円等によるものです。また、固定負債は2,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ294百万円減少しました。これは長期借入金の減少374百万円、リース債務の減少63百万円及びその他の増加141百万円等によるものです。

この結果、負債合計は12,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,980百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加636百万円、剰余金の配当による減少94百万円及び株式交換による自己株式の減少等に伴う増加269百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は33.9%（前連結会計年度末は33.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日「2023年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077	2,025
受取手形及び売掛金	2,654	3,537
商品及び製品	834	924
原材料及び貯蔵品	258	309
前払費用	188	176
その他	684	630
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	5,696	7,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,836	2,502
機械装置及び運搬具(純額)	2,539	2,604
工具、器具及び備品(純額)	46	55
土地	3,833	3,819
リース資産(純額)	432	376
建設仮勘定	81	171
有形固定資産合計	8,771	9,530
無形固定資産		
のれん	155	173
ソフトウェア	51	52
リース資産	36	28
その他	23	23
無形固定資産合計	267	278
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179	1,439
長期前払費用	265	240
繰延税金資産	53	90
その他	387	428
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	1,841	2,155
固定資産合計	10,880	11,964
資産合計	16,576	19,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,357	3,040
短期借入金	2,910	3,620
1年内返済予定の長期借入金	820	942
リース債務	217	184
未払金	746	736
未払法人税等	106	343
未払消費税等	87	210
賞与引当金	140	157
その他	647	1,073
流動負債合計	8,035	10,310
固定負債		
長期借入金	2,275	1,900
リース債務	335	272
再評価に係る繰延税金負債	34	34
退職給付に係る負債	142	144
その他	131	273
固定負債合計	2,920	2,625
負債合計	10,955	12,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,012	1,034
利益剰余金	5,046	5,496
自己株式	△900	△630
株主資本合計	5,957	6,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	101
土地再評価差額金	△462	△363
為替換算調整勘定	93	192
その他の包括利益累計額合計	△336	△69
純資産合計	5,620	6,629
負債純資産合計	16,576	19,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,122	12,114
売上原価	6,765	7,300
売上総利益	4,356	4,813
販売費及び一般管理費	3,721	4,047
営業利益	635	765
営業外収益		
受取保険金	0	16
持分法による投資利益	82	58
助成金収入	33	—
その他	77	49
営業外収益合計	192	124
営業外費用		
支払利息	16	17
支払補償費	14	—
その他	22	14
営業外費用合計	54	31
経常利益	774	858
特別利益		
固定資産売却益	—	67
特別利益合計	—	67
特別損失		
固定資産除却損	6	—
持分変動損失	14	—
特別損失合計	20	—
税金等調整前四半期純利益	753	926
法人税、住民税及び事業税	232	305
法人税等調整額	6	△15
法人税等合計	238	289
四半期純利益	514	636
親会社株主に帰属する四半期純利益	514	636

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	514	636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	68
持分法適用会社に対する持分相当額	110	98
その他の包括利益合計	110	167
四半期包括利益	624	804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	624	804

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,739	4,204	68	110	11,122	—	11,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	229	109	17	364	△364	—
計	6,747	4,433	177	128	11,487	△364	11,122
セグメント利益又は 損失(△)	91	692	103	△6	881	△245	635

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△245百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、のれんの償却額0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△246百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

飲料製造事業において、株式会社河村農園の全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しています。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において131百万円です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,302	4,625	67	119	12,114	—	12,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	299	109	23	434	△434	—
計	7,304	4,924	176	143	12,549	△434	12,114
セグメント利益	217	687	101	0	1,007	△241	765

(注) 1. セグメント利益の調整額△241百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△243百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。